

「九州大学」の移転完了にあたって

市長短信
H30年9月28日

1 九州大学が伊都キャンパスに完全移転

2018年9月、九州大学の統合移転が完了

- 2005年にスタートした九州大学の移転が、9月で完了する。
- 今後、約19,000人の学生・教職員が通うことになる（うち、留学生は約1,900人）
- 移転完了を記念して「伊都キャンパス完成記念式典」が開催される
アカデミックフェスティバル、キャンパスツアーも同日開催

糸島市にとっての九州大学

- 九州大学は、本市の発展を支える「地域の宝」である。
- これまでさまざまな連携・交流事業を展開してきたが、今後、より幅広い連携が期待される。（特に、農林水産業関連の更なる連携に期待）
- 市民や地元企業・関係団体等とともに、九州大学を核とした「真の学研都市づくり」を進め、双方が“WIN-WIN”の関係となるよう、一層の魅力向上・活性化につなげていきたい。

「真の学研都市づくり」に向けた取組

- 成熟期を迎える学術研究都市づくりのための取組
 - 国際化への対応
 - 国際村構想に基づく取組
 - 知的資源の実用化による企業・研究施設の立地促進
 - 九州大学サイエンスパーク構想の検討・推進
 - 市街地とキャンパスを結ぶ交通アクセス整備
 - 将来的に新たな公共交通の検討が必要
- 糸島市の魅力と、大学がもつ知的資源・活力を融合した「オンリーワン」のまちづくりを目指すことが重要なポイントとなる。
- 100年の歴史を誇る九州大学が、糸島の地で「次の100年」のスタートを切る。
- 九州大学の新たな歴史を支える学研都市づくりが必要。
「100年の大計」と呼ぶにふさわしいまちづくりを行っていきたい。

【伊都キャンパス完成記念式典】

日時：9月29日（土）9:30～12:00

場所：九州大学伊都キャンパス 椎木講堂

内容：記念式典（招待者・学内関係者対象）
講演会（一般対象）

講師：ノーベル生理学・医学賞受賞
大隅 良典 先生

